



医療介護総合法 対応策を求める

新制度で、要支援1・2からヘルパー、デイサービスが奪われようとしています。また、新規の要介護1・2は特養ホームの入所対象から外すことも国が進めています。

議会では、①要支援者からサービスを奪わないこと。②要介護1、2でも家族の介護力不足で、特養への入所を本人と家族が希望するときは、入所の対象

とすること。を強く求めました。

市からはその意思が尊重される必要があるという答弁を引き出しました。

東武線のふみ切 拡幅を

東武鷺宮駅近くの2箇所の踏きりが狭く、利用者には危険な状態です。拡幅するよう安全対策を求めました。

市は東武と協議すること
を約束しました。

杉野おさむ



水道水の給水停止は 死活問題

久喜市は連絡が取れないまま給水停止することがあり、それは不測の事態が起きる危険性があります。社会福祉課などと連携を進めるべきと質問。市は「生活実態というのは把握していない」との答弁です。面談せず進めることは悪質事例かどうかも判別できません。

液化化対策事業実施、 補償はどこまで

事業実施に向け、同意しない

固定資産税には「2000平米以下の小規模の住宅用地は課税標準が6分の1」になるなどの減額の特例があります。

の翌日に市の資産税担当に対し、久喜市での調査、説明、公表をもとめました。また、9月議会でも一般質問で採り上げ、行政の

は989万円にもなっており、深刻です。滞納を督促され、必死で働いて払ってきた市民税が「正しくなかった」で済まされて良いわけがあり

りません。

12月の市の広報にあるように、市はお詫びと返金をしていきます。なぜ、こういうこ

課税ミスで

税取り過ぎ5052万円

今回、調査の結果、市がその特例適用をしていなかった事などによる「過徴収」（取り過ぎ）を明らかにしたものです。

調査推進を強く求めてきました。

調査は9300筆の非住宅用地に及び、54件・5052万円の税の取り過ぎが明らかになったものです。最も高額

の市民の発端は、新座市で同様のミスが大規模で発覚し、報道されたことです。党久喜市議団では、報道

の要因究明をし、二度と繰り返さないことが大事です。



方の理由は、家屋の傾斜や地盤沈下への不安です。補償についてはお風呂場など、生活に支障が出た場合、相談に乗り対象にしていくのか質問しました。市は「家屋内の柱など傾斜を計る事業調査と原因の究明を行い、内容を詰めた上で補償も行っていく」と約束しました。

石田としはる



国保税の引き下げを 決断すべき

合併による税の統一では、歳出である医療費の伸び率が7・0%に予想、歳入では市から県の平均額7億8千万円を繰入算出しました。これにより大幅な値上げとなった家庭が多く、支払いきれない現状です。

平成25年度決算は、医療費の伸びは4.6%で、想定より2.4%も低い伸びです。繰入は2億円以上減らし県平均以下です。それでも剰余金は13億円を超え昨年に比べ2億3000万円も増えていきます。基金も7億円となっています。

市民の暮らしは年金が引き下げられ、物価高、増税で大変です。収納率は69・3%、高すぎて払いきれない状況です。引き下げの政治判断をすべきと要望しました。

渡辺まさよ



無料化継続で 利用しやすく

久喜市は使用料及び手数料の見直し方針の中で、「受益者負担の原則」と言いながら施設の有料化を検討しています。

現在無料の児童センターや鷺宮児童館などの有料化検討ではなく、もっと多くの市民が利用しやすいように、検討すべきであると要望しました。

デマンドバスの 見直しについて

実施して1年が経過し、順調に利用者が増えています。旧久喜地区での運行を多くの人が望んでいます。その声を反映させてほしい。また、利用者が多すぎて予約できない地区もあるので改善してほしいとの要望については「地域公共交通会議の中で改善に向け協議をしていきたい」としています。

平間ますみ

「新春のつどい」ご案内

久喜地域

1月25日 13:00 栗原記念館

菖蒲地域

1月24日 12:30 あやめ会館

栗橋地域

1月18日 10:00 クラッセ

鷺宮地域

1月24日 14:00 西コミセン